

第2学年1組 生活科学習指導案

指導者 蔵田 智也

1. 単元名 「生きもの なかよし 大作せん」

2. 指導観

○ 本学年の児童（男子12名女子18名）はこれまで、第1学年単元「いきものと なかよし」の学習で、地域の草むらで捕まえた生き物を観察したり、すみかやえさを用意して育てたりする活動を行っている。7月に行ったアンケートによると22名が虫は好きと答えており、生き物に関心の高い児童が多い。休み時間には自発的に生き物を見付けようとしている姿も見られ、「生き物を育てたい。」「いろいろな生き物を見付けたい。」という思いや願いをもっていることがうかがえる。しかし、その一方で、見付けた昆虫などの生き物を乱雑に扱う児童も数名見られる。

○ 本単元は、学習指導要領の内容（7）「動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする」を受け、設定したものである。

本時では、生き物を捕まえて育てたことから気付いた生き物の特徴などを伝え合う活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとすることをねらいとしている。また、この単元は、理科の学習である「生命」についての基本的な概念等に関わるものである。

○ 指導にあたっては、以下のような手だてをとって学習指導要領の内容にせまるものとする。

(1) 思いや願いが連続し、実現していくための繰り返し活動の設定

本単元では、児童一人一人が生き物探しを行って生き物を捕まえ、各自で生き物を育てていく。ここでは児童一人一人の思いや願いが連続していくために、生き物の住みか作りの活動を繰り返し行う。

まずは、捕まえた生き物をどうするかという教師の声掛けから、児童一人一人が住みかを作つてより生き物と接したいという思いをもち、自分なりに生きものの住みかを作る活動を設定する。その後の活動として、生き物が喜ぶためにはどのような住みかにすればよいかという教師の声掛けから、児童一人一人が住みかをもっとよくしたいという思いをもち、自分なりの工夫で住みかを改良する活動を設定する。生き物が喜ぶための住みか作りを繰り返していくことで、それぞれの児童に成功体験や失敗体験など様々出てくると思われる。それらの体験を通して生き物の住みかに必要なものとそうでないものに気付き、生き物が喜ぶための住みかにしたいという願いをもち続けながら生き物が元いた場所に近付けるような住みか作りを繰り返し行い、気付きの質を高めていくようにする。

(2) 子どもの思いや願いを引き出すための魅力ある題材の工夫

魅力ある題材となるために、「ぼくの〇〇ちゃん（自分が育てている生き物）」、「わたしの〇〇ちゃん」と思えるように学習活動を工夫していく。「〇〇ちゃんと仲よくなりたい。」「大事に育てたい。」などといった思いや願いをもつことができるようにするために、児童一人一人がそれぞれの題材となる生き物探しを行い、捕まえた生き物を育てるようにする。また常時活動として生き物を育てていくが、ただ育てるだけでなく、その生き物の必要なえさや住みかななどを調べることで、「もっとわたしの〇〇ちゃんのために△△したい。」という思いを深めていくようにした

い。さらに、自分が育てた生き物のよさに気付くことができるようにするために、グループを編成し同じ生き物を育てている児童同士で大きさや模様を比べる学習活動を行うことで、自分が育てている生き物の個性に気付かせ、魅力を引き立てていく。

(3) 伝え合う活動の工夫

児童が気付きを表現し、伝え合うことで気付きの質を高めることができるようにするために、主に二つの伝え合いの場を工夫する。

一つ目は第三次の生き物のお世話についての伝え合いの場を設定した。「もっとわたしの〇〇ちゃんのために△△したい。」「わたしの〇〇ちゃんが困っているのをどうにかしたい。」という思いをもって伝え合うようにする。それまで育てていく中で、上手くいったことや困ったことなどを伝え合い、自分の育てている生き物と比べながら聞いたり、教え合ったりすることで、これからどのように工夫して育てていくかということにつなげられるようにする。

二つ目は第四次の生き物の育て方を振り返る場面での伝え合いである。これまでに育ててきた「わたしの〇〇ちゃん」について、同じ生き物を育てている児童同士で比べ合う活動を行い、その後自分なりの方法で1年生に伝える活動を行う。多様な表現活動を通して、自分の育てた生き物についての気付きや思いを考えたり、自分が成長したことを喜んだり自分が成長したことに気が付くことができたりするようにしたい。

(4) 教師の見取り・支援の工夫

育てた生き物について観察したこと、思ったこと、振り返りなどをワークシートに毎時間書く。その中から児童一人一人が気付いたことや不思議に思ったこと、困っていることなどを見取り、個に応じた支援を行っていく。また、支援する際は、「どうして〇〇なの?」「へえ、〇〇なんだね。どうしてかな?」などと児童への問いかけを工夫することで、児童の思いや願いを引き出ししていく。

3. 単元の目標

知識・技能	○ 動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物が成長していることや、生命をもっていることに気付くことができる。
思考・判断・表現	○ 動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしている。

4. 本研究における具体的な手だておよび学習評価

○ 思いや願いを主体的に実現し、気付きの質を高める

単元で使用するワークシートには、「うれしい」「ふしぎ」「びっくり」など自分の思いや気付きに合うものに色を塗る欄を設ける。それをつづっていくことで、振り返られるようにする。単元を通して児童のつぶやき・表情・ワークシートから一人一人の学習状況などを見取り、支援したり問い返したり全体に広げたりすることで価値付けを行う。また、第1学年のときの自分と比べて振り返らせることで、できるようになった自分の成長に気付くようにしたい。

<学習評価>

- A 十分満足できる・・・ 自分の生き物を世話したことなどをカードや写真などで振り返り、自分の生き物の特徴に対する気付きや思い、生き物が変化・成長したことの喜び、上手に世話ができるようになったことに改めて気付くことができる。
- B おおむね満足できる・・・ 自分の生き物を世話したことなどをカードや写真などで振り返り、生き物が変化・成長したことに気付くことができる。
- C 努力を要する・・・ 生き物が変化・成長したことに気付くまでに至っていない。

<支援>

- B に対する支援・・・ 生き物を飼い始めた時の気持ちと今の気持ちを比べ、生き物の成長、上手に世話できた自分の気持ちに気付くことができるように声掛けを行う。
- C に対する支援・・・ カードや写真などで振り返りながら、その時の気持ちや生き物に対する思いを引き出せるように支援する。

5. 学習指導計画（総時数 10 時間）

- (1) 生きもののことを話そう・・・①
- (2) 生きものをさがそう・・・③
 - ① 生きものをさがそう
 - ② 生きものをつかまえよう
 - ③ つかまえた生きものをかんさつしよう
- (3) 生き物をそだてよう。(常時活動)・・・③
 - ① 生きものに名前をつけてそだてよう
 - ② ○○ちゃんのお気に入りのばしょをつくろう
 - ③ ○○ちゃんのすきなごちそうを見つけよう
- (4) 生きもののことをつたえ合おう・・・③
 - ① 友だちと○○ちゃんをくらべっこして、じまんしあおう〈本時〉
 - ② 1年生につたえるじゅんぴをしよう
 - ③ 1年生におせわした生きもののことを分かりやすくつたえよう

6. 本時の学習 令和 2 年 9 月 25 日（金）3 校時 生活科室

(1) 主眼

- 育てている生き物を友達に紹介し合ったり、同じ生き物同士で特徴を比べ合ったりする活動を通して、生き物の変化や成長についての気付きの質を高めることができる。

(2) 準備

- 教師：ワークシート
- 児童：生き物のことを記録したワークシート，ポスター，育てている生き物

(3) 展開

主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 【観点】評価規準（評価方法） ★ 本研究における具体的な手立ておよび学習評価
1. 前時までの活動を振り返り、本時のめあてを話し合う。	○ 育てた生き物の写真を掲示しそれぞれの生き物に様々な出来事があったことを振り返ることで、本時は自分が育てた生き物を友達と比べ合っ○○ちゃんによ

	<p>さを見つける時間であるということを確認する。</p>
<div data-bbox="293 226 1189 383" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて そだてている生きものをくらべっこして〇〇ちゃんのじまんできるところを見つけよう。</p> </div> <p>2. 同じ生き物を育てた児童同士でグループを組み、〇〇ちゃんについて紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッタ ・カナヘビ ・コオロギ <p>3. 話し合ったことから〇〇ちゃんの自慢できることをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きさ ・模様 ・動き ・長生き ・食欲 <p>4. 〇〇ちゃんの自慢を全体で話し合う。</p> <p>5. 本時の学習を振り返り、次時の学習について話し合う。</p>	<p>○ グループで自分の育てた生き物の育て方や様子について話し合うことで、自分が育てた生き物の成長や変化に気付くことができるようにする。</p> <p>◎ 同じ生き物を育てた児童同士でグループを組んで育てている生き物を比べながら話し合うことで、同じ種類でも大きさや模様などの違いがあることに気付くことができるようにする。</p> <p>★ 手だて 話し合う際に単元を通して使用してきたワークシートや生き物のことをまとめたポスターも一緒に活用することで、それぞれが育ててきた生き物について振り返りやすくする。</p> <p>【思・判・表】動物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。(発言分析)</p> <p>○ これまでに見取った、それぞれの児童の生き物に対する気付きや思い、上手に世話ができたとなどを称賛することで、自慢したいことを決めることができるようにする。</p> <p>○ 自分の生き物の特徴についての気付きや思い、生き物が変化・成長したことの喜び、上手に世話ができるようになったことについてよく考えることができている児童をお手本として紹介することで、どんなことを伝えたらよいか考えられるようにする。</p> <p>○ 育てた生き物のよさについてクラス内だけでなく1年生にも紹介したいという思いを引き出すことで、次時への見通しをもつことができるようにする。</p>

	<p>○ ○○ちゃんの自慢を見つけることができたかという視点で振り返ることで、児童の意欲を更に高めることができるようにする。</p>
--	--